

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハピネス			
○保護者評価実施期間	令和 8 年 4 月 1 日		～	令和 8 年 5 月 15 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	5名
○従業者評価実施期間	令和 8 年 4 月 1 日		～	令和 8 年 5 月 15 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 5 月 25 日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士が在籍し、子どもの発達特性やコミュニケーション面に配慮した専門的支援を行っている。	学校生活や集団活動を踏まえコミュニケーションの向上に向けた支援を行っている。	子ども一人ひとりに応じた支援の充実を図っていくと共に、職員全体で専門的知識を共有し、支援の向上に努めていく。
2	職員間での情報共有やミーティングを行い、子どもの状況に合わせた支援や保護者との連絡・相談体制ができており安心して利用できる環境作りに努めている。	毎朝のミーティングで子どもたちの様子や支援内容を共有している。また、LINEや連絡帳、送迎時のやり取りを通し保護者との情報共有もしている。	職員研修や勉強会を継続して行い、支援や質の向上に努め、保護者との連携もより深めていく。
3	子どもが安心して活動できる様な環境設定や視覚化支援を行っている。	掲示物等を活用し視覚化する事で分かりやすい環境づくりを行っている。	子どもの特性に応じた環境整備をさらに工夫していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流会や地域活動への参加機会が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援業務を優先する中で、地域交流や外部連携の時間確保が難しい。 ・行政との関わりも薄いので地域資源等分らず地域との繋がりを持つ機会がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事や交流活動への参加機会を増やしていく。 ・町の社会福祉協議会等へ足を運び現在の活動状況を確認し地域資源の確認を行い情報共有を継続していく。
2	保護者向けの勉強会は実施しているが参加率が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の就労状況により交流会や勉強会への参加が難しい場合がある。 ・研修会や勉強会の内容が保護者の思っている内容・課題と一致しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が参加しやすい交流会や情報発信方法を工夫していく。 ・事前に課題や内容等をアンケート頂き保護者のニーズに沿った研修・勉強会にしていく。
3	避難訓練を定期的実施し、緊急対応マニュアルは整備しているが、保護者への周知が十分ではない。	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応は実施しているが、安全確保の方法についても職員間で統一した対応の確認を継続して行う必要がある。 ・保護者へも安心して頂けるように非常時対応についても情報共有が必要と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練や緊急時対応訓練を定期的実施し、安全管理の強化に努める。 ・LINEやお便り等を活用し、保護者への周知方法を工夫し情報発信をしていく。